

結核について知っていますか？

結核は、現在も毎年2万人以上の人がかかっている病気で、決して過去の病気ではありません。薬が開発され、医師の指示のもとに薬を飲むことで治る病気となりましたが、治療せずに放置すれば自分自身の命だけでなく、感染により周囲の人の命を危険にさらすこともあるおそろしい病気です。

1. 結核を早く見つけるためには

胸のレントゲン検査

年1回は必ず結核検診を受けましょう!!!



※次のような症状が続く場合は必ず受診しましょう。

- ◆身体がだるい ◆微熱が続く ◆タンが出る(タンに血が混ざる)
- ◆せきが2週間以上続く … など

長引くせきは赤信号です。早めに受診してください。

台東区や荒川区、東京都で行う結核検診の日程について、その都度ひろば等でお知らせしますので、積極的に受診しましょう。



2. 結核と診断されたら

●医師からの指示にしたがい、薬を常用し、「薬を飲むことを止めてもいい」と言われるまで、薬は飲み続けましょう。



勝手に薬を飲むのを止めてしまうと、結核菌が「耐性」を持って薬の効かない菌「耐性結核菌」となり、通常よりも長期間薬を服用しなければならない等、治療に時間がかかってしまう場合があります。

3. 薬を飲み終わった後も

●再発する可能性があるため、年1回は結核検診(胸のレントゲン検査)を受けましょう!!



●次回の台東区早朝結核検診は、6月27日(月)を予定しています。

詳細は、次号のひろばでお知らせします。

体調管理には十分ご注意ください！！

この時期は、天候により寒暖の差が激しく、気温、湿度の変化に体がついていけず、体調を崩す場合があります。次の事項は、基本的なことですが、できることから取り組み、体調管理に十分ご注意ください。

- 三食バランスよく食べる(特に朝食は大切です)
 - 意識してこまめに水分補給をする
 - 適度な運動を心がける(散歩など30分程度)
 - アルコールはほどほどに(週2日は休肝日)
 - 規則正しい生活を心がける
 - 帽子等で直射日光をさける
- ★知っていますか？1日分のお酒の適量
- ・日本酒(15度)なら、1合(180ml)
 - ・焼酎(35度)なら、ぐい飲み2杯(70ml)
 - ・ビール(5度)なら、中びん1本(500ml)
 - ・ウイスキー(43度)なら、シングル2杯(60ml)



5月2日(月)より 技能講習受講者募集開始

- ☆センター利用者カードまたは、玉姫・河原町労働出張所の白手帳もしくは、求職受付票を所持している方が対象です。
- ※詳しくは、センター3階までお問い合わせください。



酒気帯びでの就労は絶対にしないでください！

今年度も4月6日より高齢者特別就労が始まりました。

高齢者特別就労で就労されている皆様方につきましては、「現場がきれいになり、喜ばれている」「まじめに作業している」など、非常によい評価をいただいております。

しかし、残念ながら、作業に従事する際に酒気帯びであることが判明した事例が過去に発生しております。

このような行為があると、事業実施そのものに影響するおそれがあります。

センターでは、酒気帯びでの就労に関して、厳しく対処しております。

- 酒気帯びの方への仕事の紹介は一切おこないません。
- 紹介後に判明した場合は、帰っていただきます。
(繰り返す場合は、紹介を停止することがあります。)

